

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～主体性を生む魅力的な課題設定～

「自分で学ぶ子」に迫る3つの手立て（魅力的な課題の設定）

パフォーマンス評価を取り入れた単元構想

単元のパフォーマンス課題

①単元全体を
「大きな探究」
として捉える

課題
設定

情報
収集

整理
分析

まとめ
表現

②それぞれの時間で
自己調整が可能

課題解決のために
各時間の学習に取り組む

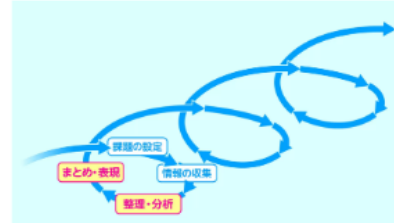
③パフォーマンス
課題を解決する
→必然的に見方・
考え方が働く

ルーブリック（評価）の提示



④ルーブリックに
照らし合わせて
自己評価ができる

⑤自己評価＋他者評価を
フィードバックし
次につなげる



課題に対してのパフォーマンス

<考察>

見方・考え方の発揮や自己調整を可能にするために魅力的な課題を含む単元の構想をした。その一つとして「パフォーマンス課題」を設定し、単元全体を探究的な学習として捉えた学習を展開している。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

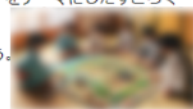
静岡県吉田町立中央小学校

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～主体性を生む魅力的な課題設定～

実践事例

パフォーマンス評価を取り入れた単元構想の具体

パフォーマンス課題		
あなたは農業組合（JA）の職員です。 小学生が、日本の代表的な農作物である米や米作りについて興味を持ってほしいと考え、「米づくり」をテーマにしたすごろくゲームを開発することにしました。 学習したことを活用して、米づくりの流れや人々の工夫や努力が伝わるようなすごろくを作りましょう。 【条件】 ①米づくりを行う場所選びから、消費者のもとに届くまでを表現する。 ②すごろく制作者からのメッセージ「これからの米づくりに必要なこと」を書き、遊んだ後に読めるようにする。		
ルーブリック		
A	B	C
Bを満たしている かつ、 ★複数の資料を効果的に組み合わせ表現している ★様々な視点から、これからの米づくりに必要なことを表現している ・教科書以外からも資料を探し、使おうとしている ・クラスみんなのために、自分の考えを伝えたり、議論したりしている。	★米づくりの流れがわかるすごろくになっており、効果マスには学習したこと（工夫や課題、苦労）を使って表現している。 ★これからの米づくりに必要なことについて自分の想いを表現できている。 ・教科書からわかることを読み取ることが出来る ・多くの友達と関わり、考えを広げたり深めようとしている。	Bを満たしていない ★米づくりの流れがわかるすごろくになっていない ★これからの米づくりに必要なことを表現できていない ・教科書を読み取っていない ・ずっと一人だけで進める。 ・人の頼って自分でやらない。



パフォーマンス課題

4年C組がスタートしてから、3ヵ月が経ちました。運動会に燃え、授業づくりを頑張り、クラスの絆を深めましたね。このようにクラスの絆を深めた今だからこそ、この4年C組のことをもっと知ってみませんか。
「4Cのことをもっと知っちゃ王！」を合言葉に、4Cはどんなクラスなのか調べてみましょう。「実は○○だった!」「意外と△△だった!」とあなたが知らない何かが見えてくるかもしれません・・・。
そこで、いろいろな種類のアンケートをクラス全員に取ります。
そのアンケートをもとに、結果がよりわかりやすくなるように学習したことを活用して、表にまとめてみてください。
「知っちゃ王！」なので、「自分が一番4Cのことを知っている!」となるよう、自分の表を完成させたり、友達表を読み取ったりして、4Cは一体どんなクラスなのか分析してみましょう。

【条件】
①自分がどのアンケートをまとめるか選択する。そのアンケートの結果を2次元表に整理して、分析する。
②自分と違うアンケートをまとめた友達と必ず交流する。

ルーブリック

A	B	C
Bを満たしている かつ、 ★複数の表を組み合わせ考え、他の資料と関連付けながら、4Cはどんなクラスなのか読み取り、自分の考えをまとめている。	★自分が選択した資料から、2つの観点に着目して、落ちや重なりがないように2次元表にしている。 ★自分がまとめた表から、4Cはどんなクラスなのか読み取り、自分の考えをまとめている。	Bを満たしていない ★自分が選択した資料を、2次元表にできていない。 ★自分がまとめた表から、4Cはどんなクラスなのか読み取り、自分の考えをまとめられていない。

5 パフォーマンス課題

夏は楽しいことがいっぱい季節ですが、「暑すぎる」「日焼けがいや」「虫がいや」などの理由で、苦手な人もたくさんいます。みなさんは、『夏のすてき伝え隊』になって、自由参観日に来てくれる家の人（特に『夏が嫌い』な人）に、「夏のすてき」を伝えます。学習してきたことを生かして、家の人が夏の魅力を十分に感じ、**夏が嫌いな人でも夏が好きになってくれるような伝え方**を工夫しましょう。

6 ルーブリック

A	B	C
Bを満たしている かつ、 ★「材料の特性を生かした工夫」や「より多くの人が楽しめるようなルール」の工夫をすることができている。 ★友達のアドバイスを取り入れながら、試すことができています。	★身近な自然や身近になる物を利用して、「遊びにつかうもの」「ルール」を工夫して、遊びを創り出すことができる。 ★友だちのアドバイスを取り入れながら工夫をしている。	Bを満たしていない ★遊びに使う物の工夫、ルールの工夫が十分でない。

【取組内容】情報活用能力の育成 ～メタ認知を育成する「まとめ・振り返り」～

学んだこと 学び方 2つの視点で振り返る

[illegible]

文字数を示し、アウトプット量を増加

[illegible][illegible][illegible]

ただ、経験者や読者の意見が来る前に書くことが習慣づいているから、読者の反応で書かないで字数を減らす時間を増やすことが出来るかなと思います。それと、今日の授業では自己評価と他者評価をしました。その理由は、目標の達成度と関係する。そしてそれが出来ていない場合は、その理由を説明する

本校は「学んだこと（教科の学習内容）」と「学び方」の力を育成をねらうため、振り返りの視点を2つ設定している。

子供たちにとって細かく学びを振り返ることは難しいため、まずはたくさんの量をアウトプットすることから始めた。文字数をカウントすることは効果的で、表現する量が増え細かな振り返りをするようになります。しかし、最終的なねらいは詳細かつ的確な振り返りです。そのために教師のリフレクションで質の向上を図りました。

このような指導を繰り返していくことで、子供たち自身が自分で学んだこと（情報）の効果を振り返り次の学びへ生かす振り返りとなっていました。

くなるので、事故が起
自分が使いやすい車で
それから、自動車を
この技術を使えば、

がなくなるといって
いて普通の車にすれば
そのことは大丈夫かな
車運転が本当にだい

自動運転により『事故が起きにくくなる』というのは面白い意見ですね。①人が運転する場合、事故はどれくらい起きているかグラフで示してみる②自動運転を開発する人の思いも含めると、良い意見になりそうですね。

返信または @ を使用してユーザーを追加

教師からのリフレクションによる振り返る質の向上

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

静岡県吉田町立中央小学校

【取組内容】校務DX ～様々な行事での端末活用でクラウドの日常化～

クラウドを活用した代表委員会



事前に通学路の危険個所をスライドで
メモし共有〈交通安全を語る会〉



運動会へ向けた活動の様子をチャットで共有

昼休みにも、はちまきをつけて練習をする6C！！

教室に入ってみると、みんなで声を出し合いながら、クラス全体が1つになっていました！
強い気持ちを感じたよ。ありがとう！



👍 35 🌟 36 🙌 28

応援動画を作成➤チャットで配信➤各自で練習

青組6年生がつくってくれた応援動画を見ながら自主練習をしています🌟



IMG_20240529_130513.jpg

👍 41 🌟 27

授業だけではなく、学校生活の様々な場面でクラウドを活用している。授業での学びを生活場面で発揮し、効力感をじっかんすることで、情報活用能力のさらなる向上につなげたい。